

体育科学学習指導案

体育, 保健体育科研究室

1 単元名 4年生 「ラグビー」(7時間)

2 運動の特性

(1) 一般的特性

ラグビーは、陣取りゴール型のボールゲームで、ボールを手に持ち相手をかかわしてゴールへ向かって走ったり、パスを回して攻撃を連続させたりしながら得点を競い合うことが楽しい運動である。攻撃では、ボールを手に持ったままプレイするので操作しやすく、守備では、タグという具体物を取れるので意欲をもって楽しくできるなど、運動が苦手な子どもも取り組みやすい。

(2) 子どもから見た特性

A 運動の特性にふれる楽しさ体験の状況

子どもたちにアンケートをとったところ、37人中27人の子どもがラグビーを知っていると答えた。知っている27人中26人の子どもが、「タグを取ったりするのが楽しい」「たくさん走る」などの理由でラグビーが好きと答えている。知らない10人の中には、昨年体育の学習で経験している子どもが6人いるが、ルールがよくわからなかったり、印象に残っていなかったりという理由で知らないと答えている。また、ボールゲームの学習では、1学期に「ソフトバレーボール」の学習を行い、チームで声をかけ合い励まし合うことでチームワークが高まっていくことや、そのことでゲームが楽しくなっていくことを経験している。

ボールゲームに対する意識としては、37人中34人の子どもが「好き」「まあまあ好き」と答えた。好きの理由として、「投げたり受けたり蹴ったりが楽しい」「みんなと一緒にできる」などが挙げられ、活動そのものの楽しさを一番感じているようである。また、勝ち負けに関しては、37人中35人の子どもが、「勝つとうれしい」「負けても次こそ」「ドキドキする」などの理由で、おもしろいと答えた。ボールゲームが嫌いだと答えた子どもの理由として、「ボールが頭に当たりルールがわからなかったり」「自分がボールが取れない」などが挙げられ、ボール操作やゲーム感覚に対して苦手意識をもっていることがわかる。

B 技術の習得状況

本単元で身に付けさせたい技能は、パスを出す・受ける、相手をかかわして走る、工夫してタグを取るという三つである。アンケートによると、しっぽ取り鬼でしっぽを取られないように逃げるのが得意と答えた子どもが30人、しっぽを取ることが得意と答えた子どもが27人であった。しっぽ取り鬼をしたときも、相手に取られないように大きくまわって逃げたり、しっぽを取るために何人かで囲んで追い込んだりと、本単元で身に付けさせたい技能につながる動きが見られた。パスに関しては、ラグビーが好きで挙げた子が3人いた。前学年で一通り経験しているものの、パスの技術にまで意識が向いている子どもは少ないと考えられる。

C 学び方に関する学習経験の状況

1学期の体育の学習で、めあてを立てたり活動のふり返りを書いたりなどの学習ノートへの記入の仕方、友だちとの教え合い、学習後の感想交流、準備や後片づけがだんだんできるようになってきている。

アンケートでは、全ての子どもが「めあてを立てることができる。」と答えた。しかし、なかには、「たのしくやる」「次は勝とう」など具体性に欠ける子どもも多数いる。また、ほとんど全員が「ボールゲームの学習で、練習してできるようになった経験がある。」と答え、「練習すればできるようになる自信がある。」と答えている。このことから、ほとんどの子どもが、自分で目的をもって学習

を進め、できるようになる喜びを味わっていると考えられる。1学期のソフトバレーボールの学習でも、チームとして身に付けたい技術について一生けん命練習している姿が見られた。また、声をかけ合いレシーブしたり、ミスをして励まし合ったりと、力を合わせて学習していた。ルールの中でうまくいかないことがあれば、教師に伝えに来て、活動後の話し合いで確認するということもできた。グループの話し合いでも、リーダーが中心になって話し合いを進めることができるようになってきた。

3 学習を進めるにあたって

本単元で、児童に身に付けさせたい技術は、「パスを投げる・受け取る」「相手をかかわして走る」「工夫してタグを取る」である。これらの技術が身に付くようなミニゲームを学習過程の中に仕組み、勝ち負けの楽しみに浸りながら技術を習得させたいと考える。

○学習過程

昨年、学習経験のある子どもたちであるが、学習してから時間が経つためタグラグビーというゲームを思い出したり、タグラグビーの基本的な動きをしっかりと身に付けさせたいと考えるので、基本の動きから段階をおって進めていきたい。

単元の初めに、ボールをもって走ることやしっぽを取ることになれさせたいので、それらの技術をのぼせる「ボールはこびゲーム」を行う。ここでは、あわせてボールを持ったらとにかくゴールをめざして前に進むことを意識させていきたい。

その後、「タグラグビー」のゲームを行っていく。タグラグビーではパスが必要になるので、学習の始めに「パスゲーム」を取り入れ、パスの投げ方・受け取り方を身に付けさせていきたい。また、主ゲームである「タグラグビー」では、ルールになれることを中心に進めていきたい。

めあて2の活動では、1対1の局面で相手をかかわす技術を身に付けさせたいので「トライゲーム」を学習の前半に位置づける。主ゲームである「タグラグビー」では、ミニゲームで身に付けたり、見つけたりした技術を活かしかんたんな作戦を考えながら進めるようにしていく。また、前時までに行ってきた「パスゲーム」は学習の始めにウォーミングアップとして行わせていきたい。

○支援

今回、それぞれのミニゲームは児童に身に付けさせたい技術を身に付けさせるために行う。紹介するミニゲーム一つ一つで次のように技術指導を行っていきたい。

- ・始めに基本となる技術を紹介する。
- ・よりよい動きを見つけていこうと意識付けるために、児童が見つけた動きを財産表にまとめ価値付ける。
- ・勝敗を明確にして、競い合う楽しさも味わわせる。

主ゲームである「タグラグビー」では、めあて1ではタグラグビーの動きやルールになれること、めあて2では動きを工夫しながらゲームを行うことを中心に進めていく。また、技術を意識しながらゲームに取り組めるよう、めあて2からの学習ノートでは、活かしたい技術何か、ゲームの中でできた技術は何かなどを書き込めるような工夫を行っていく。

4 学習のねらいとみちすじ

(1)学習のねらい

パスを出す・受ける、相手をかかわして走る、工夫してタグを取る技術を身に付け、タグラグビーを楽しむ。

(2)学習のみちすじ

めあて1…タグラグビーの動きやルールになれ、ゲームを楽しもう。

めあて2…かんたんな作戦を立て、ゲームを楽しもう。

5 学習計画

時間	1	2	3	4	5	⑥(本時)	7
5	<p>1 学習の準備とめあての確認をする。</p> <p>めあて1 ラグビーの動きやルールになれ、ゲームを楽しもう。</p> <p>2 学習の進め方、チーム編成を知る。 ○めあて1、めあて2について ○6チーム、1チーム6・7人。</p>	<p>2 ボールはこびゲームをする。</p> <p>①A-B、C-E、D-F ②A-D、B-E、C-F ③A-F、B-C、D-E</p>	<p>2 パスゲームをする。 ○円陣パス おもな支援 ○ボールの投げ方、受け取り方を指導する。 ○落ち着いてパスをするよう声かけをする。</p>			<p>2 学習の準備とめあての確認をする。</p> <p>めあて2 かんたんな作戦を立て、ゲームを楽しもう。</p> <p>※ウォーミングアップとして、相手チームとパスゲームを選択して行わせる。</p> <p>2 トライゲームをする。 <おもなルール> ○1対1で相手をぬいてボールをゴールまで運んだら1点。 ○タグを取られたり、サイドラインから出たら、もとの位置から。 ○4分間(3分間で)で攻守を交代する。 <おもな支援> ○見つけたぬき方・タグの取り方をカード化して価値付ける。 ○走り方、守り方をチーム内に広めさせる。</p>	
20	<p>3 ボールはこびゲームをする。 <おもなルール> ○ゲームには4人が出る。 ○しっぽを取られないで相手ゴールにボールを運んだら1点。 ○ボールを持っているときにしっぽを取られたらボールをもとに戻す。 ○3分-2分-3分で1ゲーム。 ①A-C、B-D、E-F ②A-E、C-D、B-F <おもな支援> ○走りやすいボールの持ち方を考えさせる。 ○しっぽの取り方になれさせる。 ○みんなで認め合いながらゲームをさせる。</p>		<p>3 タグラグビーをする。 <おもなルール> ○ゲームには4人が出る。 ○7分-2分-7分で1ゲーム。 ○パスを落としたらルーズボールとする。 ○パスカットはできない。 ○ゴールしたとき、サイドラインからボールが出たときに攻守が交代する。 ○タグを2本付けている人が、相手のゴールにボールを運んだら1点。 <おもな支援> ○ラグビーのルールになれるよう、意図的に声かけをする。 ○タグを取られるまでとにかく走る事、タグは取られてもいいこと、タグを取られたら味方に落ち着いてパスをすることなどの声かけをする。</p>			<p>3 タグラグビーをする。 ○7分-2分-7分で1ゲーム <おもな支援> ○パスを受け取る位置や走り方についてチーム内でかんたんな作戦を立てさせる。 ○ミニゲームで見つけた動きの財産を作戦の参考にさせる。 ○タグを取られるまでとにかく走る事、タグは取られてもいいこと、タグを取られたら味方に落ち着いてパスをすることなどの声かけを引き続き行う。</p>	
40	<p>4 学習のまとめと片付けをする。 ○学習のふり返しをする。 ○感想交流。 ○協力して片付ける。</p>	<p>3 学習のまとめと片付けをする。</p>	<p>4 学習のまとめと片付けをする。 ○学習のふり返しをする。 ○うまくいったことを中心に話し合う。 ○協力して片付ける。</p>			<p>4 学習のまとめを片付けをする。 ○学習のふり返しをする。 ○うまくいったことを中心に話し合う。 ○協力して片付ける。</p>	
めざす姿	<p>○ボールを持ったら、とにかくゴールに走ろうとする。 ○ラグビーの基本的なゲームの進め方がわかる。 ○ラグビーボールの投げ方、受け取り方がわかる。 ○セルフジャッジで、みんなで認め合いながらゲームを行うことができる。</p>				<p>○ボールを持ったら、相手をおかしながらゴールに向かって走ろうとする。 ○タグの取り方を工夫して守ることができる。 ○走り方を考えたり、守り方を考えたり、チーム内でかんたんな作戦を立ててゲームができる。</p>		

対戦組み合わせ

	3時	4時	5時	6時	7時
1コート	A-C	A-E	A-B	A-D	A-F
2コート	B-D	C-D	C-E	B-E	B-C
3コート	F-F	B-F	D-F	C-F	D-E